

■ 指定管理者制度導入施設 最終評価シート ■

1 基本情報

公の施設名	LCA国際小学校北の丘センター(相模原市立北市民健康文化センター)
指定管理者名	北市民健康文化センター運営共同企業体 (公益財団法人相模原市まち・みどり公社、株式会社フクシ・エンタープライズ)
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設設置条例	相模原市立市民健康文化センター条例
施設の設置目的	市民の健康保持及び増進並びに文化及び福祉の向上に寄与するため (相模原市立市民健康文化センター条例第2条)
施設概要	・所在地 緑区下九沢2071-1 ・敷地面積 9076㎡ ・建築面積4,454㎡ ・延床面積9,069㎡ ・構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨(地下1階 地上3階) 1階 プール、展示コーナー 2階 障害者プール、娯楽室、談話室、多目的会議室、講習室 3階 浴室 大広間
施設所管課	市民局 市民協働推進課

2 管理実績

項目(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	236,404	82,526	136,805	213,871	240,464
利用料金合計(円)	46,895,672	18,628,395	31,129,797	53,108,095	58,570,405

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
	C	B	D	D	C		4

※令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う施設休止の影響を考慮し、施設の開所日数や利用制限を踏まえ、目標値を修正した(令和2年度及び令和3年度における目標値の()内の数値は修正前の目標値)

指標1

指標名(単位)	プールの利用人数(人)
指標式と指標の説明	実績値(人)/目標値(人)×100

項目(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(人)	205,000	43,662 (207,000)	92,367 (209,000)	211,000	213,000
実績値(人)	137,316	49,218	77,293	132,980	149,285
達成度(%)	67.0%	112.7%	83.7%	63.0%	70.1%

指標2					
指標名(単位)	自主事業の参加人数(人)				
指標式と指標の説明	実績値(人)/目標値(人)×100				
項目(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(人)	32,000	6,323 (32,000)	20,800 (32,000)	32,000	32,000
実績値(人)	29,706	3,524	15,372	26,166	34,882
達成度(%)	92.8%	55.7%	73.9%	81.8%	109.0%

4 事業の実施状況

評価(5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
	B	A	A	A	A		15

市が指定する事業

主な事業名	内容等	効果等
(なし)		

企画提案事業

主な事業名	内容等	効果等
(なし)		

自主事業

主な事業名	内容等	効果等
「健康保持・増進」を推進する事業	プール教室や体操教室等の事業(45事業)	健康保持・増進に繋がった
「文化の振興・福祉の充実」を推進する事業	「寄せ植え教室」や「絵手紙教室」等の事業(13事業)	新たなサークルが生まれ、定期的な利用者となった
「地域のふれあい・魅力づくりへの貢献」を推進する事業	近隣施設と連携したスタンプラリーや展示コーナーを活用した地域サークルの発表・展示等の事業(17事業)	施設の活性化に繋がった

5 利用者の満足度

評価(5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
	A	A	A	A	A		15

利用者満足度調査	
調査手法	利用者へのアンケート調査
目標値の基準	利用者満足度の設問に対する「満足」と「やや満足」の合計の割合

項目(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(%)	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値(%)	90.3	87.1	90.9	91.3	91.4
達成度(%)	100.3%	96.8%	101.0%	101.4%	101.6%

利用者意見の把握に資するその他の取組

主な取組事項	取組内容
意見箱の設置	館内ご意見箱を設置し、センターに関する意見を記入していただく。月ごとにまとめ回答を作成し、同場所に回答書を設置。
教室アンケートの実施	参加教室に関してのアンケートを実施。(文化教室のみ)教室終了時に回収。

利用者意見に対する対応

主な意見	対応内容
軽食が食べられる施設が欲しい	カフェを出店し、コーヒーやマフィン、アイスクリームなどの販売を開始しました。また、北の丘フェスタ開催時にキッチンカー出店を行い、利便性を向上させました。
ウォシュレットを設置してほしい	みんなのトイレにウォシュレットを設置しました。
プール自販機周辺の床が汚い	カーペットを汚れにくい素材のものに張り替えました。

6 施設の経営状況

評価(5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
	A	S	S	C	C		

施設の収支概要

(千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入 (a)	225,682	229,346	231,896	237,688	226,762
指定管理料	176,625	173,685	166,936	166,916	162,758
利用料金収入	46,895	18,628	31,130	53,108	64,004
その他の収入	2,162	37,033	33,830	17,664	0
支出 (b)	226,271	197,886	231,411	268,667	259,639
人件費	91,352	89,020	99,119	110,934	119,773
本社管理経費	5,474	5,831	5,677	6,081	5,123
その他の支出	129,445	103,035	126,615	151,652	134,743
本体事業収支 [(a)-(b)](c)	-589	31,460	485	-30,979	-32,877
自主事業収入 (d)	12,463	2,480	10,146	18,268	23,075
自主事業支出 (e)	8,212	3,616	7,937	10,840	13,100
自主事業収支 [(d)-(e)](f)	4,251	-1,136	2,209	7,428	9,975
全体収支 [(c)+(f)]	3,662	30,324	2,694	-23,551	-22,902
備考					

7 管理業務の履行状況

検査項目	確認結果				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
管理業務	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
危機管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
人員配置・地元活用	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
現金管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
会計・経理	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
情報セキュリティ	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
情報公開・個人情報保護	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
加点の有無	無	無	有	無	無
主な加点内容			指定管理者が負担する修繕において、予算額を超過した修繕を実施するなど、施設の適切な維持管理に努めている。		

8 指定管理者の自己評価

5ヶ年を通じて新型コロナウイルス感染症拡大の影響による対応に追われる指定管理期間であった。とりわけ、令和2、3年度については、利用制限や感染症対策を実施することで、充実した事業を展開することが難しく、成果指標についても大きく未達となってしまった。

新たな生活様式、新型コロナウイルス感染症の5類引き下げ等を経て、施設本来の運営が可能となってからは各種実績の改善が図られ、最終年度である令和5年度については、令和元年度からの指定管理期間中で最高のプール利用者数となり、自主事業参加者人数も成果指標の目標値を達成することができた。

今後も子供から高齢者といった幅広い年齢層の方々が利用する当施設において、さらに魅力的な施設運営に努めていきたい。

9 所管課意見

・令和2～4年度にかけて感染症拡大により休所や利用制限が生じ、前例のない中で手探りの運営を余儀なくされた。そのような状況でも、適切な感染症対策を行いながら利用者への周知などにおいて柔軟に対応できた点は、これまで指定管理者として当施設を運営してきた実績や経験を十分生かされたものとして、一定程度評価できる。

・コロナ禍を経て利用者数がどの程度回復するかが懸念材料であったが、最終年度は施設全体の利用者数や利用料金収入、また成果指標であるプール利用者数及び自主事業参加者数が、いずれも指定管理期間中で最高となった。ただし、閑散期のプール利用促進に関しては課題も多く、年間を通しての利用につなげるためにも、さらなる周知や事業展開が必要と考える。

・開所から25年が経過し施設の老朽化が進行する中で、必要箇所については事前に計画を立てたうえで修繕を実施しており、適切な管理ができているものと考えている。今後も必要性や緊急性等を加味したうえで、予算の範囲内で最大限の効果が出るよう、修繕をはじめとした施設管理をお願いしたい。

10 選考委員会意見

・コロナ禍という予想していなかった事態の中でも、迅速かつ柔軟に対応し、努力して運営を継続してきたことに感謝する。また、コロナ禍を経て、社会のニーズや余暇活動の趣向がある程度変化した中でも、最終年度で14万人の利用者を集めたことは評価したい。

・満足度調査で高い満足度が維持されたことは、安全かつ安心な施設運営が継続できていることの表れかと思う。また、カフェスペースやキッチンカーなど、利用者意見から把握したニーズを新規事業として具現化した点は、利用者の意見を尊重し、施設の活性化に向けて新しい取組にチャレンジする姿勢であり、評価する。

総合評価(自動判定)

B

(63/100)

